

☆地域包括ケアふじえだプロジェクト☆

平成30年11月30日 VOL. 81

11月11日 いい日 いい日は『介護の日』

「**介護の日**」とは、介護についての理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者及び介護を行っている家族等を支援するとともに、これらの人たちを取り巻く地域社会における支え合いや交流を促進するために、平成20年に厚生労働省が設定した日です。

専門職が「自立支援に向けた支援強化のための研修」を受講

11月11日(日)市役所大会議室を会場で2部構成で研修会を開催し、休日開催の中、熱心な専門職延60人が聴講しました。



講師：松川 竜也 氏
一般社団法人神奈川県
介護支援専門員協会副理事長
主任介護専門員

松川竜也氏の講義では、介護保険法や地域包括ケアの理念である「尊厳の保持」や「自立」を目指した包括的なケアマネジメントのために必要な視点を学びました。ケアマネジメント（個別支援）における自立支援では、「できるだけ、自分でできることを増やすために本人の可能性や能力に焦点をあて生活行為を向上するための支援計画を作成し、利用者の生活目標に対する意欲向上に働きかけるよう支援することが重要である。利用者が役割や生きがいを持って生活できるように関わっていくケアマネジャーの果たす役割は大きい」と、エールをいただきました。午後の部では、ケアマネジャーの作成するケアプランとサービス事業所の作成する個別支援計画の整合性を図りながら、インフォーマルサービスを含めた「**住み慣れた地域で自分らしい暮らし**」を続けるために、「**したいこと**」を「**なじみの**」環境で、その人が主体的に生活できるよう**介護、地域、医療が連携した支援**をしていくことが自立支援のためには重要であることを確認しました。



午前の部対象：介護支援専門員
午後の部対象：介護サービス事業所

参加者の感想より

- ・自立支援と地域との関わりのアセスメントの参考になった
- ・地域とつなげていくことがケアマネの役割だとわかった
- ・意思決定支援の大切さを改めて感じた
- ・予防プランの目標の立て方に不安を持っていたので勉強になった

訪問看護師による出前講座を開催しています

地域の老人クラブなどに対し、訪問看護師による出前講座を開催しています。訪問看護の実際を知ることで「訪問看護師さんを頼むにはどうしたらいいのかが分かった」「主治医の先生と訪問看護師さんが連絡を取り合ってくれることがわかって安心した」との感想を多数いただきました。在宅療養における**市民の不安や疑問にきめ細やかに答える**機会となっています。

